
DRIFT NIGHT

ZERO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D R I F T N I G H T

【Nコード】

N 7 9 7 2 S

【作者名】

Z E R O

【あらすじ】

「峠でイチバン速いやつはどいつだ!」 頭 字D風のバトルドリフトストーリー!!!!

1 ドリフトナイト

峠！！それは……、

ドラテクを極める場所。

そして皆はドラテクを極め、最速と呼ばれることを目指している人たちがいる。

簡単に言ってエンジンを轟かしながらコーナーに進入し、ドリフトをしながらガードレールギリギリで立ち上がり、それで速いことが皆の目標である……。

俺はどこにでもある普通の高校に通っている高校3年生である。
現在季節は夏、もうすぐ夏休みになる。

俺は予想もしなかった……、
あんな夏休みになるなんて……。

AM 0:30

ここは群馬県のとある場所。

そしてこの付近には、某アニメマンガに登場した峠、秋名山。
実名、榛名山がある。

俺の名前は飯田 礼。高校3年生で免許は持っている。

「そろそろ行くか……」

今日は土曜……いや、日曜日だからな」

俺は机の上に置いてある車のカギを手にし、ガレージにむかった。
ガレージには

COROLLA LEVIN GT APEX (AE92)

がとめてある。

俺は、LEVINに乗り込み家をあとにした。
目的地は、榛名山である…。

なぜ向かうと聞かれたら

「走り屋だからだ！」

そう答えるしかない現状である。

ちなみ俺は中1のころから

この峠でこの車でドリドリしている。

もっとも、豆腐の配達とかではなく

ただの夜遊びだ…。

このことは誰にもバレていない！

あえて時間をずらして走っているためである。

A M 1 : 0 0

頂上まで登って来た。

「相変わらず誰もいねえな…」

そうつぶやき

下りをスタートした。

ドリフトしながら

榛名の下りを下って行く。

「ん？」

うしろから1台あおってきてる「

そう思ったら

チカチカとパツシングしてきた
バトルの合図だ…。

俺はアクセルを少し強く踏む。

コーナーにさしかかり
それなりのドリフトをした。

「コーナーでは俺のほうが
はやいのか…」

ちよつと長めのストレートに
差し掛かる。

ストレートで抜きに来た！！
とりあえず車種を確認しておく。
「180SXだ
派手だなあ…、つーか速え！！」

少し差が開く。
ヘアピンカーブで差がつまる。

次は長いストレートから
きつめのカーブだな…。

「！！？」
ストレートで置いていかれると
思っていたけど…、以外だな」

180SXはLEVINを
待っているように走る。

コーナーに差し掛かる。

先にブレーキを踏んだのは

180SXだった。

そのすきに横にならび

ブレーキをかけ、かかとで2回アクセルを踏む。

テールがながれる出口か近づき

カウンターをあてアクセルを戻して行く。

バックミラーを見ると180SXは

スピンしていた。

俺はそのまま峠を下り家に帰宅した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7972s/>

DRIFT NIGHT

2011年10月9日00時49分発行